

晴香園だより

題字 山本健治先生

第36号

発行

児童養護施設 晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail: info@s-haruka.org



ドリームチャレンジ 2018

第2弾 星空の巻

平成30年12月1日〜2日にかけて長野県阿智村にて満天の星空ツアーに行ってきました。快晴でしたが星空の見える山へ着いた時には少しずつ雲行きが怪しくなりました。しかし、目が暗闇に慣れてくると空にうつすらと星が見えるようになってきて日君も凄く嬉しそうに眺めていた横顔がとても印象的でした。



うっすら星見えたよ

第2弾 星空の巻 H君(小3)の感想

「2年生の時に職員とプラネタリウムに行って星に興味を持ちました。実際の星を見てみたいと思ったから応募しました。実際に行ってみてその日は曇りで満天の星という

第3弾 ジンベイザメの巻

平成31年1月11日〜13日、Sさん(小5)の『ジンベイザメを見たい』というかねてからの夢が叶いました。将来の夢は飼育員。海の生き物の中でも特に気に入っているのが、ジンベイザメです。この日の為に、旅行の計画、お土産を買うために貯金しました。ドリームチャレンジのプレゼント練習では、言葉が難しかっ

たので職員に手伝ってもらいました。着実に行動を重ね、ついに夢を叶えることが出来ました。

日本にジンベイザメがいる水族館は金沢・大阪・沖縄の3か所。その中でも、ジンベイザメの数、移動距離、開館時間等、さまざまな条件を考慮した上で、大阪にある「海遊館」という水族館に決めました。電車を乗り継ぎ辿りついた海遊館で、ついに待望のジンベイザメとの対面。その時の気持ちをSさんに聞くと「迫力が凄かった」と目を輝かせて教えてくれました。昼前の到着から閉館までの時間のうち、4時間はジンベイザメの前にいたということで、Sさんのジンベイザメに対する想いの強さが見えます。写真も見せて貰いましたが、大きな水槽でゆうゆうと泳ぐ、巨体の「かわいい」サメが、きれいに写っており、Sさんもさぞ興奮した事だろうと思います。

その他の生き物では、あまりにも動かない「タカアシガニ」に長老とあだ名をつけま

した。どんな会話がカニの間でくり広げられているかを想像していました。館内をまわり、たこ焼きを食べ、ジンベイザメの大きなぬいぐるみを買ったりと、大いに海遊館を満喫しました。

せっかく大阪に来たのならと、大阪城、天王寺動物園見学もプランにきっちり入れていました。ただこちらの感想はほどほどに、海遊館の思い出がよほど強烈だったのでしよう、Sさんの口から語られるのはジンベイザメのことばかりでした。

こうして2泊3日の大阪旅行を終えたSさん。このことはSさんにとって一生忘れられない思い出になることでしょう。次の夢はジンベイザメにのって、千葉から沖縄まで行くことです。



Sさんが描いた大阪城



ドリームチャレンジ2019開催決定



まっつ、ジンベイ

開催告知

こうしてドリームチャレンジ2018は幕を下ろしました。挑戦した三人は経験値をあげパワーアップしたことでしよう。

そして、ドリームチャレンジ2019の開催が決定しています。多くの子どもたちが挑戦し、自分たちの夢をつかみとってもらいたいです。



卒園生 H君(大学1年生)

私は、今大学1年生で本当ならば去年に卒園式を行うはずでしたが、大学進学と共に一人立ちするのは私からしたらすごい不安だったので、もう少しの期間園に残り、一人暮らしをしても大丈夫だろうと思えるようになったら一人立ちしようという、園からは初めての措置延長という形をとることに決めました。そして今、1年越しの卒園式を迎えております。手紙を書いてきてと言われた時、日頃書く機会はないし、過ごした内容が濃すぎて何を書けば良いか迷っていましたが、自分が入所して一人立ちするまでを振り返ってみようと思います。

まず私は3歳くらいから入所したので、ほとんどの青春を園で過ごしたのではないかと思います。幼稚園と小学校の記憶が薄いので中学校のこ

とから話していこうと思えます。私は特にここという入りたい部活がなく、友達からの誘いで野球部に入ることを決めました。そして今ここにいますR(高専4年)と同じ部活で、Rは経験者だったので、私は初心者だったので、ルールもいまいちわからなかったし、なにより上手なRには嫉妬していました。部活では協調性と最初決めたことは最後までやりとげるといふ初志貫徹という気持ちも学びました。また高校受験で行きたかった第一志望の高校に行けず私立の滑り止めがあれば後期も同じところを受けていたら結果が違っていた、施設に入っていないでごく普通の家庭に生まれてきていたら私立を受けることができたのかな等色んなことを思っています。当時Mさん(職員)はとても親身になってくれて受験のサポートなどをしてくれたり気遣ってくれてとても感謝しています。当時は高校に行くのは当たり前、なんてことを思っていました。今考えれば義務教育でもないし、

家庭の事情で高校に通えないなんて人もいるわけで本当に行かせてもらえることは感謝しなければいけないと改めて思われます。そして高校に入学し、大学受験は失敗したくないと思いい高校1年生の終わりにIさん(職員)を通して施設長に予備校に入りたいと懇願したことを覚えています。受験期はほぼ毎日のように10時間くらい予備校にこもりっぱなしで、体は痛くなるし、思うように成績は伸びないし、メンタルが強い方ではなくむしろとても弱くて勉強するたびに不安になり、苦しくなると病院に行ったこともありました。勉強し終わってホームに戻ってもすぐ自分の部屋に行き徹夜することも多々ありました。気持ちにゆとりがなく、ホームの子どもがうるさくて勉強できない等と当たってしまったこともありました。あの時はすいませんでした。受験校の合格発表日の違いで、第一志望の大学の発表を聞くことができないと言われた時は、Oさん(職員)ととても意見がぶつかり

合い、大泣きしながらも施設長にお願いしたこともありました。残念ながら今通っている大学は目指していた大学ではないですが、今こうして大学1年目が終わろうとしていて思うことは、「どの大に学に行くことではなく、与えられた4年間で何をやるか」だということです。私は将来やりたいことのためにきちんと行動に移し、お世話になった晴香園のために、いつになるかは分かりませんが、必ず恩返しに来たいと思います。

この場を借りて言いたいことがあります。それは当たり前前ではないんだということ。私は今東京で一人暮らし



ステキな笑顔



おめでとう!

をしていて日々支えてくれる人がどれほど大きな存在だったかということをおぼろげに思わされまます。帰ったらご飯がある、洗濯物を干してくれる、布団を干してくれる、学校に通うことができる、勉強ができる、日々一人ひとりの人生が送れているのは紛れもなく後援会の力だったり施設長や職員のおかげだと思えます。甘えてもいいですが甘えすぎず、時にはお世話になってる人が喜ぶようなことをしてほしいです。今現在一人暮らしをしているからこそ言いたいと思っただけです。偉そうと思われたいと思いません。

そして特に絡む機会が多かったRとY(高校2年)に伝えたいことがあります。Rは同じ年で同じホームで、私の自己中心さにむかついたことが数えきれないほどあると思います。ごめんなさい。とても優しく頭の良いRには嫉妬ばかりしていました。進路の進み方は違いますが、自分がやりたい道に進んでいっているのは同じです。自分がやりたい道に進めるようお互い頑張ろう。Yはとても努力家でまじめで頑張り家なイメージが強いです。来年大学受験だね。受験は簡単ではないですが、努力が絶対結びつくわけではないけれど、無駄な努力は絶対ないからやってみよう。あと自分を信じて頑張る。あと自分に自信を持つ。最後になりますが、同じホームだった子ども、職員をはじめ違うホームの子どもや職員の皆さん出会ってくれてありがとう。そして、後援会の方々今まで多大なるご支援の程、感謝申し上げます。またこれからもご支援のほど、よろしくお願いたします。

在園児童代表 R(高専4年)

Hとはほとんど同じホームで過ごして、衝突することもあったし、互いに大変な思いもしたね。高校に入ってからバイトとか勉強とか帰ってこない時、帰ってきたらイライラなんてときもあり。でも同年代だし共感できる部分もあり、「あいつも大変だなあ」と思っていました。

手紙を書いている時に、ふと思い出したことがあります。中学校の時、部活の先生に「スポンジになれ!」と言われてたね。今になって考えるとどうですか? スポンジになれたかどうかは知らないけれど、なれないということもHを日たらしめているところだと思います。学校大変だと思うけど、同世代お互いに頑張ろうや!

ホーム職員代表 Oより

卒園おめでとう。晴香園を出て一人暮らしを始めてから、あつという間に半年が過ぎましたね。大学生活には慣れましたか? 私がH君と一緒に過ごしたのは高校3年生

のたったの1年間。そんな私がおこがましいかもしれないけれども、精一杯、伝えてみるね。

たったの1年だけれども色々なことがありました。思い出深いのはなんといつても大学受験。志望校を決める話し合いの中、高みを目指すH君と心配する私の気持ちから、他の子が寝静まる中、ダニングで思いをぶつけ合うこともありました。「俺のことを信じてないのか」とH君が言った情景は今でもありありと思えます。そして、これからも忘れることはないと思います。思いを伝えてくれてありがとう。これからもあなたのあの思いについて一生懸命考え続けていくよ。雨の日も、陽炎が浮かぶ夏の炎天下でも、霜がおり強風吹きすさぶ冬の日も、塾に通い続けたあなたの姿を私は知っています。頑なだけ自分なりのやり方で大学合格を勝ち取ったあなたの姿を私は知っています。もしも誰かがそんなあなたを馬鹿にするような



旅立ちます!

ことがあったのなら、私はそれを許しません。H君の掲げていた商社に入るといふ夢はまだ持ち続けていますか? そうであれば、その目標を心に刻みこんで忘れずに。大丈夫、H君ならやり遂げられる。かつこのいいことばかり言っただけのものかと思ってしまう。ちゃんとご飯は食べられてるかな? 体壊してないかな? お金には困ってはいないかな? 学校にはちゃんと行っているかな? H君が卒園してから相も変わらずそんなことばかりです。晴香園にはきつとそんな風にH君を思う人たちがまだいます。助けが必要な時には、ヘルプ

を出すのも大人の嗜み。大変な時には連絡するんだよ。そしてたまには成長したあなたの姿を見せに来てくれると嬉しいな。応援しています。

卒園生 Rさん(高校3年)

私が過ごした晴香園生活は、長かったような、けれどあつという間だったようなそんな10年間でした。その中でも、中学校の時不登校になり毎日が不安でしたが、その時の担当だったOさん、Tさんは「辛いなら無理して行かなくてもいいよ」と言ってくれました。OさんやTさんは私のことを理解してくれ、一番に考えてくれました。そんな二人には感謝の気持ちでいっぱいですが、中学に行っていない私が高校に行けるのか中学校3年になってから考えることが増えました。けれど勉強もしていない、部屋でごろごろばかりしていた私にこんな言葉がふりかかってきました。「高校に行けるの?」と。それを言われた私は、そろそろ本当にまじい...と焦り始め、私は「高校に行きた

い」そうお話ししました。ですが「今のあなたに何ができるの? あなたには難しいんじゃない?」そう言われやつと気づきました。「私は何もできてない...」と思った時どうにかしなくちゃ! と思うHさん(職員)に相談し塾等に行くことが出来ました。そして何とか受かることが出来ました。でも受かったけれど中学に行けてなかった私が高校に毎日通えるか正直不安でした。実際に高校に入っても学校に行けなくて部屋にこもる事が多く、ホームの職員とは何度もぶつかって自分の思い通りにはいかなくて部屋で泣いていることもありました。そんな時でも困った時はいつでも相談に乗ってくれた友達、先生がいてくれました。私の過ごしてきた学生生活では高校生活が一番印象に残っています。私自身が人と関わるのが苦手だったけど高校に入って小さな事から人と関わっていくことができて卒業するまで友達と毎日ふざけあつたりしたことが楽しかったです。そして晴香園で過ご



後援会理事・評議員の皆さまと

していくうえで大切な存在もでき、高校でも大切な友人が出来て私が私でいられる居場所を見つめることが出来ました。約10年間過ごしてきた晴香園から出ていくのは、寂しいけど晴香園で過ごしてきた時間を忘れないで前に進んでいきたいと思えます。晴香園の職員、学校の先生、友達には数えきれないほど、迷惑をかけたしすれ違ったり喧嘩もしたけど、悪いことも良いことも含めて今となっては私の思い出です。

社会人になったら高校以上に厳しいことがあるかもしれないし辞めたいと思うことがあるかもしれないけど、学校

生活で、学んだことを全力で活かして私なりに頑張りたいです。本当にありがとうございました。困った時、助けてほしい時、自分から発信しにいけます。お世話になりました。

在園児童代表 A(中学1年)

私とRちゃんは、Yホームからの仲だね! あれからもう8年だね。あの時は、悪さしたり、ケンカしたりして一緒に怒られてたね。今もあの時とあんまり変わらず、たまに喧嘩もするけど、仲良しな友達というか親友というか家族的な存在なRちゃんが、卒園すると、Rちゃんがいないとなると、いつも一緒にいた時間の過ごし方がわかりません。とりあえず「Rちゃんくん!」ってなると思う。でも、Rちゃんには、ここを出てから色々な事があると思うから、頑張ってもらいたいです。なので応援してるね。私も私で頑張るから応援してね。私はこれから自分の出来ないことを少しずつできるように頑張るね。Rちゃんも頑張ってるね。応

ホーム職員代表 Sより

ご卒業おめでとうございませう。私がRちゃんを1年目です。私がRちゃんを経ました。高校生活になったばかりのRちゃんは、新しい制服にそでをとおし毎日楽しそうに高校に通っていました。そんなRちゃんがもう卒業なんて! あつという間の3年間でしな。この3年間の中でも色々なことがあつたよね。自分の思いがうまく伝えられず、何度も私とぶつかり二人で何度も話し合いをしたよね。ぶつかった時は怒って部屋に閉じこもるRちゃんだけど、その問題をそのままには絶対しないでとちゃんとRちゃんはゆっくりでも自分の思ったことを伝えてくれました。それはRちゃんの良いところだと思います。約10年という長い時間を晴香園で過ごし、ここ



応援しているよ!

まで大きく成長して卒業していくRちゃんはすごく素敵な人になれると思っています。ホームの中で「ジャーニーズが：」等Rちゃんの何気ない話に聞けなくなると思うと少し寂しいです。ですが、いつでも晴香園のみんなはRちゃんを応援し、見守っています。それを忘れないでください。困ったことがあった時にちゃんと「助けて」と言えるようになったRちゃんは強いです。これからも笑顔をやさず、自分らしく素敵な人になって下さい。いつでも晴香園に遊びに来てね。3年間、本当にありがとう。

「生きる力」を育む

NPOみらいの森の自然つながりプログラムに、主に小中学生が参加しました。みらいの森では、児童養護施設で暮らす子ども達が、自分に自信を持ち、幸せに社会で暮らしていくために必要な「生きる力」を体験を通して身につけることが出来るプログラムを毎月開催しています。今年度は4月から1年間活動に参加し、興味を示す子どもも多くなりました。

5月と11月には御嶽の山をハイキングで楽しみました。小さな山ではありますが、正直、大人でも筋肉痛になってしまうほどでした。大きな岩足場が狭い道、子どもたちは泣いて嫌になってしまっているのではないかと心配しましたが、みんな笑顔で乗り切りました。特にR君(小3)は、身体も小さく、体力も少ないですが、自然は大好きなので、職員が疲れ切っているなか、目をキラキラさせて「もっと上登るの? 楽しいね!」と

楽しんでいた姿が印象的です。Rちゃん(中2)は9月のラフティングを非常に楽しみ、インストラクターの方から、「川に入っているよ。」と言われると、真っ先に飛び込み、声をあげて楽しんでいました。3メートルもある岩から川への飛び込みも、勢いよく飛び込み、「楽しい!!」と満面の笑みを浮かべていた姿が印象的です。Rちゃんはこの頃からみらいの森に興味を深め、10月のウッドクラフトでの箸づくりは、お店で売っていてもおかしくないんじゃないかと思えるほど、綺麗な箸を作りました。

みらいの森は夏と冬にはキャンプを行います。夏は宮城のくりこま高原で、4泊5日過ごしました。残念ながら天気には恵まれず、雨での参加でしたが、雨でも子どもたちの笑顔は絶えず。モリンピックと言うチーム対抗戦のゲームでは、他施設の子とも達と協力しながら優勝する為に頑張っていました。大自然の中のキャンプ、せみやクワガタはあちこちにおいて、子どもたちは目をキラキラさせて遊んでいました。キャンプファイヤーやマシユマロ焼き、沢登りなど、園では体験できない貴重な体験をする事が出来ました。

年の瀬に

時は平成30年12月26日、平成最後のもちつきに相応しく、晴天での開催と相成りました。多くのボランティア皆様方にご参加・ご尽力頂きましたこと、無事に閉会出来ましたこと重ねて御礼申し上げます。

さて、今年のもちつき大会におけるトピックスと致しましては、平日という事もあったので、例年お世話になっておりましたおやじの会の方々がおられなかったことが挙げられます。あの光り輝く緑ジャンパーを着た雄姿が見られなかったのは残念です。(次の機会には是非宜しくお願い致します)そんな中、会は始まりましたが何だかギクシャク…。私達がどれだけ頼りにしてしまっているか痛感しました。そしてどうしようかと頭を抱えようとした時、その穴を埋めるかの如く子供達が



おいしいもちにな〜れ!



最後の片付けまでお手伝い

やってくれました!! 餅のつき手はもちろんのこと返し手まで買って出してくれ、薪を割り、来賓の方々への餅・豚汁配りはお手のもの。焦げ付いた鍋を洗う最後の最後まで、八面六臂の大活躍。年の瀬に子ども達の一年の成長を見せ付けられた一日となりました。「子どもの力って凄いな」と改めて感じ入り、その活躍ぶりに職員として頭の下がる思いです。皆、本当にありがとう!!

お手伝い頂いた方々を差し置くようで大変申し訳なく思いますが、今大会の MVP を子ども達にあげてもよろしい

平成30年12月12日、18名の中高生参加のもと、ホテルミラコスタにて後援会の方々とお食事をしました。最初に、子どもたちの幼い頃のスライドショーを鑑賞しました。あちらこちらで笑い声や当時を懐かしむ声が聞こえ、一回りも二回りも成長した自分自身を感じる事ができたのではないのでしょうか。美味しいごちそうを食べながらビンゴ大会を楽しみ、とても素敵な景色に子どもたちも大喜びでした。次に、東京デイズニーシーの

晴香園後援会

ミラコスタお食事会

でしょうか? (皆様なら快くYES! とお返事下さると思っております) 次回の「もちつき大会」でも子ども達の成長した姿を見られること請け合いです。皆様が今年もお越し下さることを子ども達・職員一同首を長くして(まだ季節は春なので...) 楽しみにお待ちしております。



成人おめでとう!

成人を祝う会

平成31年1月14日に成人を迎えた二人の卒園生のお祝いをしました。卒園して2年。

ショーを見る事ができ、感動の声を上げたり、窓にしがみついたりする子もいました。そしてなんと最後には当日誕生日をむかえた子に向けてサプライズで素敵なプレゼントを用意してくださいました。後援会の方々の粋な計らいに心より感謝申し上げます。と思います。日常では中々味わえないような場所でのこういった経験は、子どもたちにとってとても貴重な経験になった事と思います。

平成31年3月2日に後援会主催による、第二回卒園生の集いが開催されました。卒園生20名に手紙を送ると、ほとんどの卒園生からメールや電話での連絡がありました。『行きたかったから希望休だったんだけど、休みもらえなかった』『国家試験前日だから勉強に専念するね』『元気だよ』『仕事頑張ってるよ』『だからこの日も仕事。また遊びに行くよ』

卒園生の集い会

一人は美容の専門学校に進学しました。先日行われたコンクールでの作品を写真で見せてくれました。現在は国家試験の為、勉強を頑張っていると教えてくれました。もう一人は建築を学ぶために大学に進学し、課題に追われる日々だそうです。カナダに研修旅行をした時の話を聞かせてくれました。二人とも、昔からの夢を着実に実現させようとしています。



久しぶりだね

『残念ですが先約が入ってしまったので出席できません。寒い日が続いておりますのでお体大切に』等々。卒園生同士でも『行けそう?』と声を掛け合ってくれているのも教えてくれました。参加は出来なくても、こうして連絡を取り合える機会となっていくことが、とても大切だと感じました。当日は、体調不良による欠席もあり、3名が参加していただけることになりました。それぞれに近況を伝えてくれ、卒園生が気軽に園に帰って来れるようなアイデアも一緒に考えてくれました。とてもアットホームで素敵な会になりました。

新規会員ご入会 継続会員費納入
ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。

お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

(今号では、平成30年11月1日から平成31年2月28日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。)

(敬称略・順不同)

【新規会員】

- 【新規会員】
(株)万作 遠藤 春美
有吉 浩二 小林 奈々
森 恭二 戸張 秋男
長谷川 歩美 咲田 直也
定近 有希子 川野 隼人
【継続会員】
岩崎電気管理事務所
(有)カサヤ防災システム
(有)安井エージェンシー
(株)ライフサポート
(株)アリスコーポレーション
(株)アーバンファミリィ
松戸ラジオクラブ ライトモケイ

- (株)ユーライフ (株)ライズ
(株)アテナ (株)石崎商店
(株)早見設備 (株)J.V
(株)山野辺建設 (株)仲亀
(株)六歌撰 (有)シヨセ
松戸友の会 沖 和汎
藤谷 隆 田中 里奈
段下 裕貴 吉原 美奈子
石上 俊一 上田 実帆子
藤田 純子 梅本 真行
清水 潤也 奥山 稔
山田 敦子 赤沼 二己男
岡野 照 倉持 淑子
福本 節子 藤永 健二
竹縄 妙子 佐藤 暁子
大町 勝 佐々木 雅子
石原 研作 豊田 明
鈴木 利枝 加納 眞利子
栗原 勝 大井 史雄
山本 忠明 刀根 英二
墳崎 敏之 我妻 美根子
西内 弘美 土屋 供生
福田 眞 根岸 正国
板垣 弘毅 木元 淳平
志熊 泰子 竹中 加津枝
金子 公子 浅井 利明

「晴香まなび基金」へのご寄付
ありがとうございます

- 館野 恵子 石川 琢哉
信田 典彦 小川 千恵子
中原 雅子 佐藤 守
森 朋子 戸張 秋男
白石 善雄 荻部 寿美
金澤 晴美 猿渡 英明
小嶋 祐司 綿引 由夏
勝野 政嗣 カンダ タカヨシ
金鶴 友昇
レイクチャールズ&聖衣子

心温まるご厚志
ありがとうございます

- 関原事務所 (有)Zainers
有吉 浩二 安井 清
東 秀隆 浅川 文雄
佐々木 瑞恵 谷 康夫
野呂 佐知子 浅井 利明
野呂 和子 藤田 純子
黒田 静江 金子 公子
ソヤ タカキ スズキ マサオ
ハシモト ヒサオ マエダ トシユキ
サントレーディング
カンダ タカヨシ
モリシマ エバ サカヨリ リョウ
レイクチャールズ&聖衣子

山崎製パン松戸工場
従業員組合松戸支部
マルハン松飛台店

- エムトレディング(株)
松戸遊技業防犯組合
セカンド・ハーベスト・ジャパン
全国シヤンメリー協同組合
聖光ヶ丘病院 チュチュアーナ
ほつともつと (有)松正
フイリップモリス 日本鏡餅組合
ムーンバット(株) 千葉西総合病院
メルセデス・ベンツ葛飾
(株)シユテル 次長 長妻 行則
毎日新聞東京社会事業団
ミカンネット(株) 吉原
ナイナーズサトコ
日向 恵子 鈴木 みさを
我妻 美根子 藤竹 晶子
佐々木 瑞恵 林 宏樹
福山 直樹 玉置 淳
芦北 とも子 榎本
浮谷 智恵子 菅井
城野 公正 関原
白鳥 幸志 高橋 京子
中根 信吾 本住 豊
関根 照子 ラヒミ
関川 節子 日向 恵子
匿名
藤原志穂路・由佳子
エヌ・ハウジング
更生保護女性会 ゆいねっと
第一生命労働組合 柏・つくば支部
第一生命保険株式会社・柏支社
MDRT (株)J.V
川上 弘文 樋口 晴彦

ボランティアのご協力
ありがとうございます

- 吉井 秀仁 野口 裕史
富澤 和江 永田 三一
城野 公正 上屋 潤
齊藤義男 松井 秀文
島根 明 三原 立子
ワタナベ マサト
貴園と同じ名の子を持つ母
マエダ トシユキ 匿名
○学習ボランティア
柴田 和子 田中 里奈
高橋 千尋 湯本 佳子
小林 由美子 小林 陽子
猿渡 英明 井手 慶子
Noel Curry
○遊びボランティア
松田 瑞樹
○図書室ボランティア
口地 美恵子 深山 喜子
○ピアノボランティア
石井 美和
○花ボランティア
NPO法人 Imagine
副理事長 山下 緋沙子
松戸更生保護女性会
○清掃ボランティア
フイリップモリス
○誕生日ケーキプレゼント
オペラ座

子どもたちと後援会員との 交流会のお知らせ

お食事をしながら、子どもたちと楽しい親睦タイムを企画しています。
皆様、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

日時:平成31年5月6日(月) 11:30~13:30

会場:ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣

(旧名 ナプシャルズ南柏) TEL:04-7146-2222

参加費:後援会員2,000円

内 容:晴香園の子どもたちと会食しながら、様々な楽器による
すてきな演奏や歌をお楽しみいただきます。着席スタイルで行います。



ご出席のご連絡のお願い

交流会にご参加いただける方は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。

申込期限:平成31年4月22日(月) 電話:047-345-2722

お振込先口座が変更になりました。

後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003235
口座名 社会福祉法人晴香(後援会口)

まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003243
口座名 社会福祉法人晴香(まなび基金口)

※寄付金に関する詳細は、下記にお問い合わせください。
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145 社会福祉法人 晴香
TEL.047-345-2722 FAX.047-309-8807 E-Mail:info@s-haruka.org

日増しに春めいてまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。3月には小学校でも6年生を送る会がありました。その練習を元気よくホームでしており、それを見た他の子どもたちも面白がって一瞬オタ芸ブームが起きてとても賑やかでした。また、最近では以前にも増して鬼ごっこやサッカーなど身体を動かす遊びをしており、グラウンドを駆け回っている姿を良く見かけます。

高校受験、旅立ちの会も終わり、ホームも落ち着きを取り戻してきました。私事ではありますが、今年初めてホームで担当する子どもの卒園を経験しました。引越し当日まで荷物整理が終わらずバタバタでしたが、そんな中でホーム職員に手紙を書いてくれていて涙がこみ上げてきました。それぞれが新しい進路に向けて動き始めています。新しい場所への不安もふつふつと出てきていますが、春休みをゆつくり休んで備える期間とし新学期に備えてほしいと思います。

広報担当 三浦真・大塚

編集後記

